

奄美海上保安部便り 第70号

- ・第70号は2023年12月から2024年2月までの活動状況などを掲載しております。
- ・奄美海上保安部ホームページはこちら <https://www.kaiho.mlit.go.jp/10kanku/amami/>



奄美群島日本復帰70周年記念講話

いづみほうろう

12月18日、名瀬港湾合同庁舎で、楠田哲久「泉芳朗先生を偲ぶ会会長」による奄美群島日本復帰70周年記念講話が行われました。復帰前後の島民生活の困窮、奄美のガンジーと呼ばれた泉先生らによる復帰運動の様子や海上保安庁の関わりなど映像を交えて紹介、奄美海上保安部の職員21名が聴講、無血運動を成し遂げた先人達の苦勞と功績及び今日の平和を尊び、奄美群島の安全安心に全力で取組む決意を新たにしました。



楠田会長

奄美海上保安部長が職員へ令和6年の方針を訓示

1月23日、奄美海上保安部で職員が一堂に会し、令和6年能登半島地震及び羽田空港の航空機事故で亡くなられた方々へ哀悼を込め黙禱を捧げました。その後、樋口奄美海上保安部長が職員へ、「地域の期待と信頼に応える」を念頭に、「心と体の健康に留意」しながら、「飛躍の年となるよう業務に打ち込む」と令和6年の方針を示しました。



海上保安庁
JAPAN COAST GUARD

令和5年度「未来に残そう青い海」海上保安庁図画コンクール

奄美群島地区の入賞作品が決定、1月27日、名瀬港の巡視船「あまぎ」の船上で表彰式を行いました。入賞した小中学校の児童と生徒15名と保護者など合わせて57名が参加、巡視船「あまぎ」の船内や漂流者救助訓練なども見学しました。

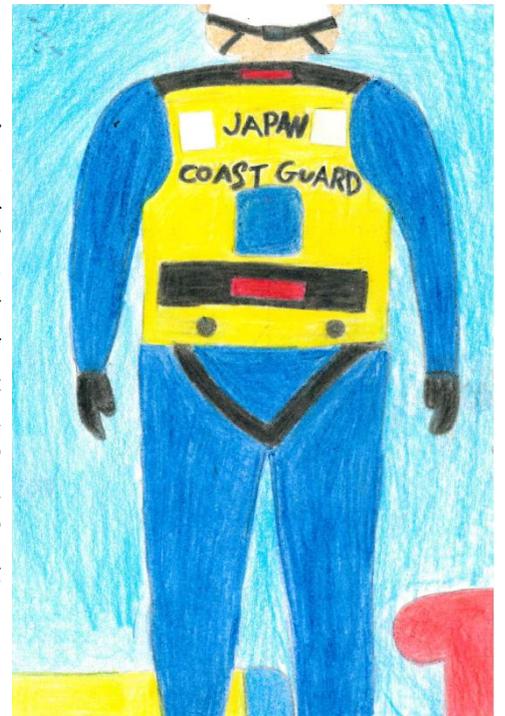


◆ 小学校低学年の部の入賞作品



速水 夏花 さま (和泊町立和泊小学校)
奄美海上保安部長賞

常田 夢来 さま (奄美市立朝日小学校)
海上保安協会奄美支部支部長賞



金子 詩乃 さま (瀬戸内町立阿木名小学校) 古仁屋海上保安署長賞

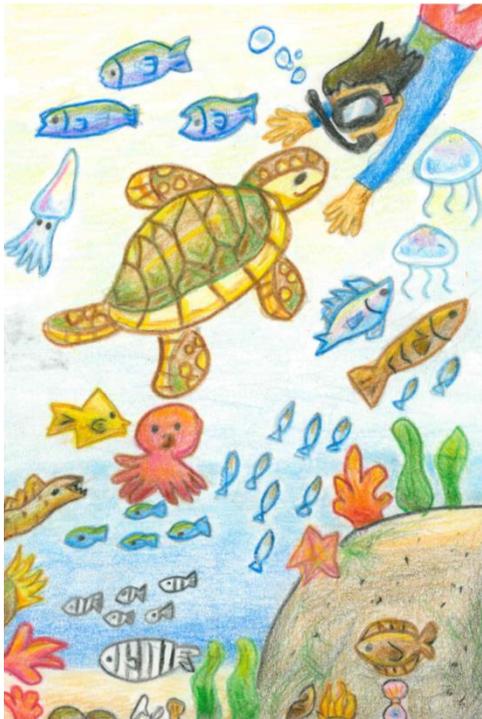


橋村 颯海 さま (瀬戸内町立嘉鉄小学校) 海上保安協会奄美瀬戸内支部支部長賞



大塚 千愛 さま (和泊町立大城小学校) 奄美群島日本復帰 70 周年記念賞

福田 心晴 さま (奄美市立小宿小学校) 奄美群島日本復帰70周年記念賞



園村 玲空 さま (奄美市立朝日小学校) 奄美群島日本復帰 70 周年記念賞

◆ 小学校高学年の部の入賞作品



輝 一慶 さま (喜界町立喜界小学校)
海上保安協会南九州地方本部本部長賞

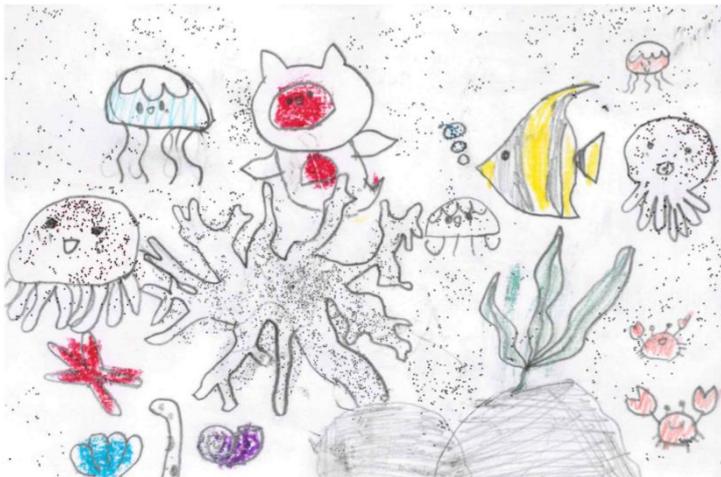
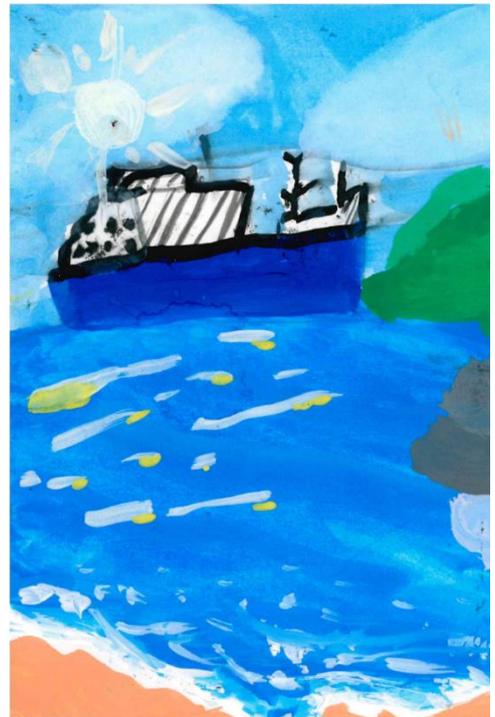


榎 亮太郎 さま (喜界町立喜界小学校)
奄美海上保安部長賞



肥後 希望 さま (奄美市立名瀬小学校)
海上保安協会奄美支部支部長賞

平瀬 心奏 さま (瀬戸内町立阿木名小学校)
古仁屋海上保安署長賞



高島 恋嘉 さま (宇検村立阿室小学校)
海上保安協会奄美瀬戸内支部支部長賞



田島 海跳 さま (奄美市立小宿小学校)
奄美群島日本復帰 70 周年記念賞

登 奄美群島日本復帰70周年記念賞
結優さま(奄美市立小宿小学校)



幸 ひよりさま(奄美市立小宿小学校)
奄美群島日本復帰70周年記念賞



◆ 中学校の部の入賞作品



松 美桜さま(伊仙町立伊仙中学校)
奄美海上保安部長賞



山下 雄翔さま(奄美市立金久中学校)
海上保安協会奄美支部支部長賞



時山 星来さま(奄美市立金久中学校)
奄美群島日本復帰70周年記念賞

前崎 花のんさま(奄美市立金久中学校)
奄美群島日本復帰70周年記念賞



◆ **海上保安庁図画コンクール入賞作品の展示**：名瀬港フェリーターミナル及びイオンプラザ大島店ならびに奄美パークで展示、多くの方々にご覧いただきました。



名瀬港フェリーターミナル



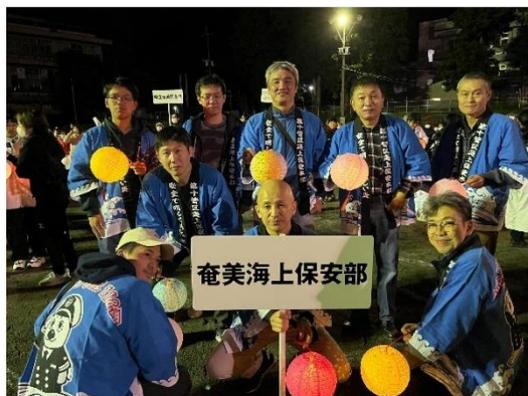
イオンプラザ大島店



奄美パーク

◆ **奄美群島日本復帰 70 周年祝賀提灯行列**

12月25日、奄美市主催の奄美群島日本復帰70周年を祝う提灯行列に、奄美海上保安部職員が参加、揃いの法被姿に提灯で市内を練り歩き、先人の苦勞と成し遂げた功績及び平和の尊さを再認識しました。



奄美海上保安部



揃いの法被姿で提灯行列



◆ **奄美市議会の議員と意見交換**

2月13日、奄美海上保安部で奄美市議会の議員12名と奄美海上保安部長が意見交換、海上保安庁や奄美海上保安部の業務等について説明いたしました。



◆ **徳之島、沖永良部と与論で、警察、消防、海保と水難事故防止で協力強化**

奄美海上保安部は、2月20日に徳之島警察署及び徳之島地区消防組合と、21日に沖永良部警察署及び沖永良部与論地区広域事務組合(消防)と、「水難事故の救助に関する覚書」の改正、調印式を行いました。今後、群島外からの観光客の増加に伴い、マリンレジャー等の活発化が予想され、海浜事故の未然防止での協力を強化するため覚書を改正しました。



徳之島地区



沖永良部与論地区

名瀬港でタンカーの荷役作業と岸壁の設備等を点検

12月20日、年末年始の繁忙期を前に、名瀬港の佐大熊地区岸壁で、奄美海上保安部の海上保安官らがタンカーからの石油の荷役作業と岸壁の荷役設備等の点検を行いました。

奄美海上保安部は、外海離島のライフラインの一つである燃料供給の安全と安定に努めます。点検の様子を新聞2社が取材、広く報道されました。



タンカーからの荷役作業点検



関係書類点検

奄美群島排出油等防除協議会

- ◇ 1月24日、奄美市のA i A i 広場で、奄美群島排出油等防除協議会奄美支部の総会及び講習会が開催されました。第十管区海上保安本部環境防災課職員による防災講習では、排出油事故発生の際の各会員の初動措置の確認などを行いました。なお、予定された訓練は荒天のために中止となりました。



排出油等防除講習会

- ◇ 1月26日、喜界町役場で、奄美群島排出油等防除協議会喜界支部の総会が開催されました。その後、湾港で流出油防除訓練を行い、オイルフェンスの展張から撤収までの一連の手順を確認し、流出油災害に備えました。



流出油防除訓練(オイルフェンス展張・撤収)

吐噶喇列島の悪石島沖で船舶火災

12月29日の6時40分、「フェリーとしま2」から第十管区海上保安本部へ「悪石島沖で機関室から火災が発生した。」と通報がありました。

奄美海上保安部の巡視船「あまぎ」、「かいもん」や古仁屋海上保安署の巡視艇「いそなみ」など海上保安庁の巡視船艇6隻と航空機4機及び機動救難士(鹿児島航空基地)と特殊救難隊(第三管区海上保安本部)ならびに地元漁船など14隻が対応にあたりました。乗客11名と乗員11名は救命筏で緊急脱出、その後、漁船等で悪石島に搬送されました。乗員7名と特殊救難隊が消火等にあたり19時10分に鎮火を確認、30日の7時10分にタグボートが曳航開始、31日の9時35分に鹿児島港に着岸しました。



鹿児島港に着岸中のフェリーとしま2

沖永良部島の和泊港でフェリーが岸壁に衝突

1月8日の14時20分、フェリー「クイーンコーラルクロス」から奄美海上保安部へ、「和泊港入港中の13時50分頃に船首が岸壁に衝突した。」と通報があり、巡視船「あまぎ」が出動、対応にあたりました。

調査の結果、和泊港へ入港接岸中に後進をかけたところ、メインエンジンが突然停止、約3ノットで和泊港岸壁奥の消波ブロックに船首が衝突、乗客と乗員に怪我はなく、積荷や油等の流出もありませんでした。船首のバルバスバウに幅約10cm、長さ約60cmの亀裂などが確認されました。

9日から技術者によるメインエンジンの調査と修理が行われ、11日の試運転で正常が確認されたので、10時50分に鹿児島港に向けて航行を開始、12日の18時40分に鹿児島港に着岸しました。



和泊港に着岸中のクイーンコーラルクロス

AIS※で「道の島」の船舶の海難を防ぎます

奄美群島は、鹿児島と沖縄の間に海の道しるべの様に島々が連なっていることから、かつて「道の島」と呼ばれました。

海上保安庁は「道の島」に、奄美大島の北部に名瀬AIS海岸局(無線局)、南部に高知山AIS海岸局、さらに沖永良部島の南部に大山AIS海岸局を設置、吐噶喇列島などのAIS海岸局とネットワークで結び、鹿児島湾から沖縄に至る広大な海域でAISを装備した船と電波を使って自動で情報をやりとりし、船の動静を見守り、安全航行に必要な情報を提供し、浅瀬への乗揚げや台風避泊時の走錨に伴う衝突や乗揚げ事故などを防ぎます。

11月29日、12月13日と14日、総務省総合通信局によるこれらAIS海岸局の定期検査が行われ、奄美海上保安部の海上保安官が対応、無事に検査を合格しました。奄美海上保安部は奄美群島の海上交通の安全に努めます。



AISを装備した船の航跡

※ AIS:船舶自動識別装置、船舶間や船舶と陸上間で、船名、船種、大きさ、喫水、目的地、積荷、位置や速力などの情報を電波で自動的に通信するシステム。国際ルールで、内航船は500トン以上、外航船は300トン以上、外航旅客船は全ての船に装備義務があります。

水難事故防止で奄美群島到着の航空会社へ感謝状謹呈

2023年の夏季のマリンレジャー等に伴う水難事故防止に関して、奄美群島到着の航空機の機内アナウンスなどで、乗客に向けて「水難事故防止の呼びかけ」などを行って頂いた、日本航空(株)、スカイマーク(株)、ピーチアビエーション(株)の3社へ、奄美海上保安部長が感謝状を謹呈いたしました。



日本航空(株)

スカイマーク(株)

ピーチアビエーション(株)

純粋な心溢れる手紙が届きました ～社会科見学のお礼～

12月25日、奄美海上保安部に、11月22日に社会科見学で奄美海上保安部と巡視艇「いそなみ」を訪れた、奄美市立大川小学校と小湊小学校の児童から、純粋な心溢れるお礼の手紙が届きました。

将来、必ず、海上保安官になって一緒に奄美の美しい海を守りましょう！ … (職員一同)



✚ 巡視船「あまぎ」

- ◇ 12月13日、名瀬運動公園屋内プールで、巡視船「あまぎ」の乗組員2名が、海面救助員※をめざして訓練を行いました。



2名は、さらに訓練を重ね、海面救助に関する知識や身体能力を向上させ、それらの確認審査に合格すれば、奄美海上保安部長から海面救助員に指定されます。

※ 海面救助員:海上保安庁の潜水士や他の救助機関の対応を待っていたのでは、救助の時期を失すると判断される場合に限り、海面救助活動等を行うことが可能で、海上保安庁で定める知識や身体能力等を有すると認められた者が海面救助員に指定されます。

- ◇ 1月6日、名瀬港で、巡視船「あまぎ」の乗組員2名が、海面救助員※としての知識や身体能力等を確認する、確認審査を受審しました。審査で2名は、これまで積み重ねた訓練の成果として漂流者の救助を完遂することが出来ました。巡視船「あまぎ」は、奄美群島の海難救助体制の強化に努めます。



海中へ飛び込み



漂流者の確保・救助

- ◇ 1月29日、奄美海上保安部長が、海面救助員の確認審査に合格した巡視船「あまぎ」の乗組員2名を海面救助員※に指定、指定証を交付しました。2名は奄美群島の安全安心に全力で取り組む決意を新たにしました。



海面救助員指定証を交付



展示訓練

- ◇ 1月6日の早朝、年始の繁忙期で乗降の人や車で大混雑の名瀬港フェリーターミナルで、巡視船「あまぎ」の乗組員らが、テロや犯罪及び事故の防止のために警戒を行いました。



フェリーターミナル警戒の「あまぎ」乗組員

巡視船「かいもん」

◇ 12月18日、奄美大島名瀬港北西の摺子埼沖で、巡視船「かいもん」が遭難船の救助等のための照明弾ともやい銃の発射訓練などを行いました。



◇ 12月25日の夜間、名瀬港で、巡視船「かいもん」などは、奄美群島日本復帰70周年記念みらい花火大会の観覧船や観覧者の事故防止のために海上警戒などを行いました。

◇ 12月29日の夜間、年末の繁忙期で乗降の人や車で大混雑の名瀬港フェリーターミナルで、巡視船「かいもん」の乗組員らが、テロや犯罪及び事故の防止のために警戒を行いました。



フェリーターミナル警戒の「かいもん」乗組員

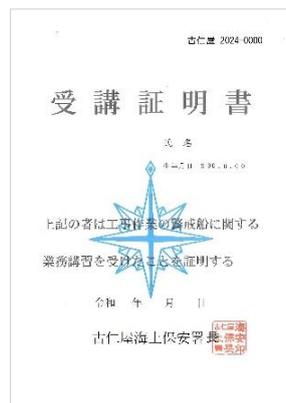


心肺蘇生法訓練の「かいもん」乗組員

◇ 1月10日、巡視船「かいもん」は、心肺停止者の救命救助に備えて、心肺蘇生法の基本知識についての講習と実技訓練を行いました。

古仁屋海上保安署・巡視艇「いそなみ」

◇ 1月24日、古仁屋海上保安署で海上での工事作業等の安全のための、「工事作業の警戒船講習会」を開催、警戒船の業務講習を15名が受講、それぞれに受講証明書を交付いたしました。



警戒船講習会

◇ 2月16日、宇検村体育館で、奄美群島排出油等防除協議会瀬戸内支部の総会が開催されました。その後、流出油防除訓練等を行い、オイルフェンスの展張から撤収までの一連の手順を確認し、流出油災害に備えました。



宇検村長の挨拶



オイルフェンス展張撤収訓練

◇ 12月13日、喜界島の早町漁港で、古仁屋海上保安署の巡視艇「いそなみ」潜水士と喜界消防分署水難救助隊の消防士が「いそなみ」支援のもと遭難者の捜索と救助等の合同潜水訓練を行い、相互の連携強化と技能向上を図りました。

喜界町立早町小学校の児童25名と教諭が訓練を見学、初めて見る潜水訓練に歓声を上げました。



早町小学校の児童と記念撮影



早町小学校の児童が潜水訓練を見学



巡視艇「いそなみ」潜水士と喜界消防分署水難救助隊の消防士



◇ 12月27日、大島地区消防組合瀬戸内地区消防分署の訓練施設で、巡視艇「いそなみ」の潜水士と消防分署の消防士らが合同レンジャー訓練を行い、相互の連携強化と要救助者の吊上げなどの技能の向上を図りました。



吊上げ訓練



吊上げシステム作成



合同訓練後の検討会



元旦、いそなみ船首から海中へ飛び込む潜水士

◇ 1月1日、古仁屋港で、巡視艇「いそなみ」と潜水士が新年の安全祈願と潜水訓練などを行いました。潜水士は新年の抱負を叫びながら、船首から勢い良く海中へ飛び込みました。

◇ 1月16日、河川からの濁流で水中視界が約30cmとなった名瀬港で、巡視艇「いそなみ」の潜水士らが、水中視界不良時の遭難者捜索と救助訓練を行いました。潜水士は奄美群島の安全・安心のため、様々な状況に備えます。



視界 30cmでロープ結束する潜水士



海上保安協力員等との連絡会議

◇ 1月26日、古仁屋海上保安署で海上保安協力員*との連絡会議を開催、瀬戸内町と宇検村の海上保安協力員5名及び海上保安協会奄美瀬戸内支部職員ならびに古仁屋海上保安署の海上保安官が参加、管内の海上犯罪の現状や海洋環境の保全等について、情報交換などを行いました。また、協力員へ海の緊急電話番号「118番」の周知と海上保安大学校と海上保安学校の学生募集もお願いいたしました。

※ 海上保安協力員：海上保安協会奄美瀬戸内支部長（瀬戸内町長）が指名する、海上での犯罪や事故の防止及び海洋環境の保全のためのボランティア、古仁屋海上保安署管内で8名が指名されています。

漂泊船と航行船が衝突、漂泊船が大破

2月12日の深夜1時頃、与論島赤埼灯台の東南東約58kmで、漂泊中の漁船と航行船が衝突、漁船は大破、乗組員1名は第十一管区海上保安本部中城海上保安部巡視艇「あわぐも」に救助されました。漂泊中は見張りを厳守、夜間は必ず灯火を点けて事故防止に務めてください。

錨泊・漂泊中は航行船との衝突注意



見張り厳守・夜間は必ず灯火



7人乗り遊漁船が浸水・沈没

2月18日の10時57分、乗客6名、乗員1名乗組みの遊漁船の船長から第十管区海上保安本部へ「船内に海水が入ってきて船が沈没した。」と118番通報がありました。乗客乗員は、付近にいた遊漁船に救助されました。船は機関室に浸水、10時51分頃、龍郷町の戸口港の南東約16kmで沈没しました。奄美海上保安部巡視船「あまぎ」が出動、沈没位置付近で浮遊油や漂流物の調査を行いました。船首を海面に直立して沈没寸前の遊漁船



船首を海面に直立して沈没寸前の遊漁船



遊漁船業者へ事故防止呼びかけ

12月25日、年末年始の多客期を迎え、管内の遊漁船業者へ事故防止を呼びかけました。



磯釣り連盟の総会で釣り中の事故防止呼びかけ

2月25日、奄美磯釣り連盟の総会で、奄美海上保安部の海上保安官2名が、連盟の会員54名に、海象・気象の事前チェック、複数名で釣りに出かけること、防水パック入り携帯電話などの連絡手段の確保や救命胴衣の着用など、釣り中の事故防止を呼びかけました。



海上保安官が奄美のFM ラジオ 77.7MHz に生出演

◇ 1月4日、奄美海上保安部の海上保安官がFMラジオに生出演、海上保安学校学生採用試験(特別・10月入校・受験申込2月22日～3月11日)及び海上保安庁緊急通報用電話番号「118番」について、リスナーにお知らせいたしました。



◇ 2月1日、奄美海上保安部の海上保安官2名がFMラジオに生出演、海上保安官採用試験と令和5年の海難発生状況及び「未来に残そう青い海」海上保安庁図画コンクールの奄美群島地区入賞作品の展示について、リスナーにお知らせいたしました。



船舶無線の使用には無線従事者資格と無線局の免許が必要です

令和5年度、奄美海上保安部管内の複数の船舶で不法船舶無線が確認されています。不法船舶無線の開局及び無資格操作は電波法で罰されます。電波法を遵守し、必ず免許を受けてください。

不法船舶無線の概要と妨害事例

※出典 総務省資料

○不法船舶無線 ～免許を受けた船舶無線の通信などを妨害!～

船舶無線を使うためには、無線従事者資格と船舶の無線局の両方の免許が必要です。漁船やプレジャーボート等の船舶が、免許を受けずに船舶無線を使用すると電波法違反となります。

船舶無線は、海岸局や船舶相互間での通信に使われ、秩序正しい通信が求められます。不法船舶無線は、ルールを無視して、他の無線通信に妨害を与える恐れがあります。

<妨害事例>

船舶の遭難、緊急等の通信に妨害を与えるおそれがあります。

不法船舶無線による妨害



電波法（抜粋）

（無線局の開設）

第4条 無線局を開設しようとする者は、総務大臣の免許を受けなければならない。
（ただし書き以下略）

（罰則）

第110条 次の各号のいずれかに該当する場合には、当該違反行為をした者は、1年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処する。

- 一 第4条の規定による免許（中略）がないのに、無線局を開設したとき。
- 二 第4条の規定による免許（中略）がないのに、無線局を運用したとき。
（三号以下略）

（無線設備の操作）

第三十九条 第四十条の定めるところにより無線設備の操作を行うことができる無線従事者（中略）以外の者は、（中略）無線局の無線設備の操作（中略）を行ってはならない。（ただし書き以下略）

（罰則）

第百十三条 次の各号のいずれかに該当する者は、三十万円以下の罰金に処する。
（中略）

- 二十 第三十九条第一項（中略）の規定に違反した者。（二十一号以下略）

2024年度海上保安大学校と海上保安学校の学生採用試験スケジュール

	海上保安大学校 学生採用試験※ 【海上保安大学校(本科)】	海上保安官採用試験 【海上保安大学校(初任科)】 大学卒業程度	海上保安学校 学生採用試験※	海上保安学校 学生採用試験(特別)
受験案内 HP 掲載日	6/12(木)	2/1(木)	6/12(水)	2/1(木)
申込受付期間	8/22(木)～9/4(水)	2/22(木)～3/25(月)	7/16(火)～7/25(木)	2/22(木)～3/11(月)
第1次試験日	10/26(土)及び27(日)	5/26(日)	9/22(日)	5/12(日)
第1次試験 合格発表日	12/6(金)	6/26(水)	10/9(水)	5/31(金)
第2次試験日	12/13(金)	7/9(火)～7/17(水)	10/15(火)～10/24(木)	6/5(水)～6/26(水)
最終合格発表日	R7. 1/16(木)	8/13(火)	11/19(火) ※航空課程は 二次試験合格発表日	7/26(金)
第3次試験日 ※海上保安学校 航空課程のみ			11/30(土)～12/10(火)	
最終合格発表日 ※海上保安学校 航空課程のみ			R7. 1/16(木)	

※ 海上保安学校における教育課程の再編に伴い、令和6年秋の海上保安学校学生採用試験から区分試験「情報システム課程」を廃止し、区分試験「船舶運航システム課程」を「一般課程」に名称変更します。

※ 海上保安大学校は卒業すると学士(海上保安)の学位が与えられ、大学院入学資格が認められるほか、司法試験の第1次試験が免除されます。

※ 採用試験の詳細は、海上保安庁HPもしくは人事院HP「国家公務員採用情報NAVI」をご覧ください。

➤ 海上保安庁HP <https://www.kaiho.mlit.go.jp/recruitment/> ➤ 人事院HP <https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>

